

## 27 ヨハネ 8 章 48-59

1、「内容観察」この箇所を自分の言葉で表現してみましょう。どんなことが記されてありますか？

※あなたは思ったことないでしょうか？「イエス様もっとはっきり自分がキリストであること、神の子であることを表したらしいのに」…って。確かに聖書をそのまま読んだだけなら、イエス様のメシヤ宣言は頼りないように感じるかもしれませんが、よく見れば、これ以上にどう言えばいいのかというほどに、語り、現わしておられるのです。そしてそれを語れば語るほど、示せば示すほど、人々は受け入れられず、イエスを危険人物と思うようになるのです。

2、もう一度復習しておきたいのですが、ここでイエスさまと話をしているユダヤ人たちは、どういう人たちでしたか？ (8:2, 30)

・そういう人たちだったのに、イエス様の話を聞いているうちにどんな感情を持つ者となっていたのですか？ (40, 48)

※ここに人間が神様からどれほど隔てられた者（感覚が違う者、理解できな者）となっているかをうかがい知ることができます。 Iサムエル 16:7 イザヤ 55:9 ヨハネ 16:12

これは基本的に、「クリスチャンになった私たち」にも当てはまることでもあるのです。だから「もうすでに得た」でなく、「求め続ける」必要があるのです。

3、今日の箇所にあるメシヤ宣言を書き出してみましょう。

① (51)

・これはイエス様が信じる人々によく語ってこられた真理です。 ヨハネ 3:13-16, 36 ヨハネ 5:24

12弟子は、それらを聞いても信じ続けましたが、このユダヤ人信仰者たちはどういう気持ちになりましたか？ (48, 52, 59)

② (54-,56)

③ (58)

・このように彼らはイエス様がご自分のことを話せば話すほど、耐えられなくなってしまったのです。それは彼らがイエスを「人」として見て、信じていたからです。(慈善家、宗教革命家、神の預言者として) さあ、私たちの心の中には何がまだあるかな？ここに信じた人たちが「きよめられる」ことを求め、更に主を愛し、主に近づく必要性を見るのです。

4、理解不可能な神の深い真理に直面した時、私たちはどう反応したらいいと思いますか？先人たちの模範から学んでみましょう。

マリヤの例 ルカ 1:28-38 (38) 2:15-20 (19)

トマスの例 ヨハネ 20:26-31 (28,29)

パウロの例 ローマ 11:33 12:3

5、今日の箇所を通して、神様はどのようなお方でしょう。またどんな約束、模範がある？またどんな注意、戒めがある？